

第 5 号様式（第 6 条関係）

北の台中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 5 回 北の台中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 7 年 3 月 7 日（金）		
開 催 時 間	1 6 時 1 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分		
開 催 場 所	北の台中学校 図書室		
議 長	教頭		
出 席 者	会長、コーディネーター、学校運営協議会委員（2 名） 校長、教頭、総括教諭（5 名）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	2
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 校長挨拶 4. 議事 ○ 学校評価報告書について ○ 具体的な取り組みについて 5. 閉会			
【主な意見・決定事項など】 4. 議事 ○ 学校評価報告書について ・ 学年だよりで道德の授業の感想が掲載されていてとてもよいと感じている。生徒が自分らしい感想を書けていてよい。このような感想は、どの学年でも発信しているか？ → 道德に限らず、学年だよりや学級だよりを通して、生徒のさまざまな取り組みや感想を発信している。 → 保護者は楽しみに読んでいると思う。また、感想を通して授業が見えてくるようで良い取り組みだと感じている。 ・ 運動について、運動部やクラブチームに参加している割合はどれくらいか？ → 運動部と文化部を合わせると 8 割程度の生徒が部活動に所属している。運動部の数の方が多いので、5 割程ではないかと思			

う。外で野球や水泳などの運動に取り組んでいる生徒は把握してはいないものの、若干名だと感じる。

→体を動かす場所や機会が減っていることもまた課題だと感じる。

○ 具体的な取り組みについて

- ・ 「継続」が大切。
- ・ 運動会の取り組み。「事前の準備なども手伝ってもらえるとありがたい。」というニーズが挙がった。
- ・ 本年度、総合的な学習の時間で自治会と関わりながら地域の課題に取り組んだことで、ワンステップ踏み出せたという印象。自治会からも、「さらに改善するには」という意見も挙がっている。
- ・ 2つ以上の中学校に関わっている地域。「どちらか一方ではなく、どちらの学校にも平等に関わらなければいけないのではないか」という悩みを持っているかもしれない。
→ 地域のニーズや学校の実情にあわせて、取り組める学校が取り組むというのも良いのではないか。
- ・ 中学生が総合的な学習の時間で取り組み、考えた提言書に対して、自治会からフィードバックを頂けたことがありがたい。
- ・ 生徒たちの今年度の取り組みをもっと発信できるとよい。
- ・ 地域のニーズを吸い上げられる機会を設け、今後の取り組みにつなげていけたら良いのではないか。
- ・ 「お饅頭づくり」のような、普段できない経験・体験を提供する取り組みも良いのではないか。（地域のリソースを生かして）
- ・ これまでの取り組みから、コミスクの取り組みとしては、長期間継続して取り組む活動よりも、短期間でピンポイントに取り組むイベントの方が実施しやすい。これまでの取り組みのノウハウを生かして、学校と地域をつなぐ取り組みを行うことができそう。

【配付資料】

次回開催予定

なし